

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

| | |
|----|----|
| 別添 | なし |
|----|----|

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|------|----|--------|
| 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 歌舞伎・能楽 |
|----|------|----|--------|

応募区分(応募する区分を選択してください。)

| | |
|------|-----|
| 応募区分 | A区分 |
|------|-----|

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数応募の有無 | 有 | 応募総企画数 | 2企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|----------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|----------------------------|

文化芸術団体の概要

| | | | |
|-------------------------|--|---|------------------------------|
| ふりがな 制作団体名 | こうえきしゃだんほうじんかんぜきゅうこうかい | | 団体ウェブサイトURL |
| | 公益社団法人観世九臈会 | | https://yarai-nohgakudo.com/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 観世喜正 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 162-0805 | 最寄り駅(バス停) | 東京メトロ東西線神楽坂駅 |
| | 東京都新宿区矢来町60番地 | | |
| 電話番号 | 03-3268-7311 | | |
| ふりがな 公演団体名 | こうえきしゃだんほうじんかんぜきゅうこうかい | | 団体ウェブサイトURL |
| | 公益社団法人観世九臈会 | | https://yarai-nohgakudo.com/ |
| 代表者職・氏名 | 理事長 観世喜正 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 162-0805 | 最寄り駅(バス停) | 東京メトロ東西線神楽坂駅 |
| | 東京都新宿区矢来町60番地 | | |
| 制作団体 設立年月 | 昭和27年9月 | | |
| 制作団体組織 | 役員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 【代表理事】 観世喜正 【常務理事】 2名 弘田裕一、駒瀬直也 【他 理事】 9名 【監事】 2名 【法人社員】 33名(個人会員・能楽師) 【事務局】常勤職員4名、非常勤職員6名 | 【社員】(個人会員・能楽師)33名 【入会資格】 (公益社団法人観世九臈会 定款第6条より抜粋) 1) 正会員この法人の目的及び事業に賛同して入会した、満20歳以上で、観世流の能楽師個人。 | |
| 事務体制 事務(制作)専任担当の有無 | 事務(制作)専任の担当者 を置く | 本事業担当者名 | 芝田 裕之 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理担当者 | 瀬木 さとみ |
| 本応募にかかる連絡先 (メールアドレス) | yarai_s@abeam.ocn.ne.jp | | |

| | | | | |
|--------------------------|--|--|-----------|--|
| <p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・能楽 観世流の演能団体。 ・全国各地に門弟を有し、東京都新宿区に矢来能楽堂を所有し運営している。ほか、大阪市に九阜会館として稽古能舞台を所有し、運営管理している。 ・明治期に観世流分家の観世鏡之丞家から出た観世清之が門をなし、明治40(1907)年文献上「九阜会」が初見。この頃より演能会を開催。 ・現当主は4代目。三世観世喜之。 ・明治43(1910)年6月 第1回観世九阜会開催。 ・明治44(1911)年に初世観世喜之が神田西小川町にて能舞台を構え、昭和5(1930)年に現在の神楽坂に移転。 ・昭和27(1952)年 現在の矢来能楽堂を再建。 ・昭和27(1952)年文部科学省(文化庁)所管での社団法人認可 ・平成23(2011)年 保有する「矢来能楽堂」が国の登録有形文化財の認定を受ける。 ・平成24(2012)年内閣府所管公益社団法人の移行認定。 <p>・団体設立時より継続的に定例公演を行い、全国各地にて能楽の公演を行う。</p> | | | |
| <p>学校等における 公演実績</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・文化服装学院校外教室 (昭和33年より60年以上にわたり毎年開催) ・日本女子大学付属中学校 能狂言鑑賞会(昭和58年より40年以上にわたり毎年開催) ・新宿区牛込地区小学校 能狂言鑑賞会(昭和59年より40年以上にわたり毎年開催) ・日本外国語専門学校 能狂言鑑賞会(平成24年より10年以上にわたり毎年開催) ・穎明館中学校 能狂言鑑賞教室(平成17年より10年以上にわたり毎年開催) ・三輪田学院高等学校 能狂言鑑賞教室(平成31年より5年以上にわたり毎年開催) ・京都府京丹後市にて小学生向け能楽講座・鑑賞会(平成20年より15年以上にわたり継続的に開催) ・兵庫県豊岡市など丹後地方の小中学校にて能楽講座(平成29年より7年以上にわたり断続的に開催) ・矢来能楽堂にておいて、 静岡県、長野県などから小学生修学旅行の狂言鑑賞教室の実施(年間約10数校) | | | |
| <p>特別支援学校等における公演実績</p> | <p>特になし</p> | | | |
| <p>参考資料の有無</p> | <p>申請する演目のWEB公開資料</p> | <p>有</p> | | |
| | <p>※公開資料有の場合URL</p> | <p>https://www.youtube.com/watch?v=izPrUCvJtIQ</p> | | |
| | <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> | <p>ID:</p> | <p>なし</p> | |
| | | <p>PW:</p> | <p>なし</p> | |

| | |
|----|----|
| 別添 | あり |
|----|----|

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人観世九卓会】

| | | | | |
|----|----------|---|----------|---|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | 小学生(中学年) | ○ |
| | 小学生(高学年) | ○ | 中学生 | ○ |

| | |
|-----|-----------|
| 企画名 | 能楽を学んでみよう |
|-----|-----------|

| | |
|--------|--|
| 企画のねらい | <p>日本の伝統芸能である「能」と「狂言」を合わせて「能楽」と言います。小学校六年次の「国語の教科書」において「狂言」が、中学校二年次以降の「音楽の教科書」に置いて「能」が数ページにわたり取り上げられていることを踏まえ、小中学生の生徒達に、「能楽」の実演を鑑賞してもらいます。</p> <p>伝統芸能であるが故に、とすれば教員側も難しく感じている「能楽」を、「解りやすく」「楽しく」鑑賞。そして「体験」できるよう構成しています。</p> |
|--------|--|

| | |
|-------------|--|
| 演目概要・演目選択理由 | <p>狂言「柿山伏(かきやまぶし)」の鑑賞と鑑賞後の狂言体験 ならびに 能「船弁慶」の鑑賞と能で使われる和楽器についての紹介をします。</p> <p>1、狂言「柿山伏」 【演目概要】 ・旅の途中畑の柿の木に登り、柿を盗み食いする山伏がいます。 ・見廻りに来た畑主が見咎め、懲らしめの為動物の鳴き真似をさせます。 ・柿の木から飛び降り、足腰を痛めた山伏は畑主に治療を求めますが、 ・神通力を持つはずの山伏が滑稽に描かれています。</p> <p>【演目選択理由】 ①「柿山伏」は、小学校六年生の国語の教科書の大部分において取り上げられています。 ②特徴的なセリフや所作があり、鑑賞した子供達が真似し易い、再現をしたくなる動きが多く含まれています。 ③小学校低学年から中学生まで、楽しく鑑賞できます。 ④狂言の本質である「おかしみ」「滑稽さ」が存分に活かされており、教員が授業で狂言を取り上げる時にも、役立てることができます。</p> <p>2、能「船弁慶」 【演目概要】 平家物語を題材とした物語。 前段では、 ・壇ノ浦の合戦で平家が滅びた後、源頼朝と兄弟仲が悪くなった義経は都を離れ大物浦(現在の兵庫県)から、西国へと逃れようと船出の準備しています。 ・同行して来た静御前は引き返すように告げられ、名残を惜しみながらも、別れの酒宴で舞を舞い、涙ながらに帰るのでした。(今回は前段は上演しませんが、内容については事前のワークショップにてあらずで解説します。) 後段では、 ・西国行きのため、義経、弁慶一行は船に乗り出航します。 ・エーイエーイと軽快に船が進んでいたかと思うと、俄に天候が怪しくなります。 ・やがて、海上は嵐になり、船頭の手腕で大波を乗り越えようと、壇ノ浦に沈んだ平知盛の幽霊が現れ、薙刀を持って義経達に襲い掛かります。 ・義経は太刀で、弁慶は数珠を使い法力で戦うと、知盛は再び海へと消えて行くのでした。(この後半部分を上演します)</p> <p>【演目選択理由】 ①閑かでゆったりとしているイメージの強い能ですが、躍動感のある華やかな動きと、迫力の有る囃子音楽で、目と耳の両方で楽しめます。 ②ストーリーが分かりやすく、迫力のある演目です。 ③歴史や古典の時間に学習する、我が国の誇る古典文学の平家物語を題材としています。 ④源義経が太刀で、平知盛の亡霊が長刀で戦う場面は、迫力があり、激しい囃子で盛り上がる場面、また、大嵐の様子を擬態した囃子音楽の演奏が見もので、児童・生徒たちが舞台への集中力も増します。</p> <p>なお「船弁慶」は前・後半の二場面物ですが、後半の嵐の中を行く船の場面と、迫力のある義経・知盛の戦いの場面に主眼を置き、上演することで、生徒達が解りやすく鑑賞できるように、また、上演時間の短縮を図り、授業時間内収まるように演出を工夫してあります。</p> |
|-------------|--|

| | | | |
|--|---|------------------|--------------------|
| <p>児童・生徒の参加又は体験の形態</p> | <p><本公演の実施形態> ①全体解説、②狂言の鑑賞、③能の和楽器解説、④能の鑑賞、⑤狂言体験、⑥質疑応答</p> <p>①【全体解説】 事前ワークショップに参加していない児童・生徒も鑑賞できるよう、演目のみどころについて解説いたします。</p> <p>②【狂言の鑑賞】(別添資料あり) <実施形態> 狂言「柿山伏」を鑑賞します。</p> <p>③【能の和楽器解説】 <実施形態> ・演奏者による模範演奏 ・演奏者による楽器説明 <体験形態> ・金属素材は用いず、自然由来の素材を使った能の和楽器の仕組みを、プロの演者によって実演し、説明を聞く事で、西洋の楽器に慣れている子供達に和楽器の魅力を伝えます。 ・中学生には授業に役立ち、小学生には、中学校になったときに授業で習う事前体験として役に立ちます。 <効果> ・中学校の教科書に掲載されている和楽器を、プロの演者による実演・解説で実際の和楽器をもとに学習できます。 ・小学生には、中学校になったときに授業で習ったときの事前体験として役に立ちます。</p> <p>④【能の鑑賞】(別添資料あり) 能「船弁慶」を鑑賞します。</p> <p>⑤【狂言体験】(別添資料あり) この曲ならではの、動物のモノマネを演者がする面白さを生かし、昔の人の動物の捉え方、描き方を興味深く感じてもらえます。 <実施形態> ・狂言の演者が狂言の所作を指導します。 ・代表児童・生徒は舞台上で、その他の児童・生徒はその場で体験していただきます。 <体験形態> ・鑑賞した「柿山伏」で演じられた動物の物まねを全員で体験します。 ・狂言独特の構え方や、笑いの所作等を全員で体験します。</p> <p>⑥【質疑応答】 ・本公演の最後に、児童・生徒からの質疑応答を行います。 ・「和楽器の模範演奏・解説」および「狂言体験」を児童・生徒の体験後は、小鼓などの楽器の特徴について多くの質問が出ます。</p> <p>本公演終了後には、狂言のセリフを皆で口ずさみながら楽しそうに盛り上がっている児童・生徒達を見ることが出来ます。</p> | | |
| <p>児童・生徒の参加可能人数</p> | <p>本公演</p> | <p>参加・体験人数目安</p> | <p>体験代表生徒数:12名</p> |
| <p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p> | <p>鑑賞人数目安</p> <p>体育館または会場の入場可能人数まで</p> <p>①全体解説(小学校10分・中学校15分) ②狂言「柿山伏」 原作/作曲/脚本等:作者未詳 上演時間(15分) ③能の和楽器解説(20分) ④能「船弁慶」 原作/作曲/脚本等:観世小次郎信光(15～16世紀) 上演時間 (20分) ⑤狂言体験(20分) ⑥質問応答(小学校5分・中学校10分)</p> <p>(公演時間: 小学校・二コマ90分、中学校二コマ100分) 公演時間 90・100 分</p> | | |
| <p>出演者</p> | <p>①能「船弁慶」 ・シテ方: 観世喜正、弘田裕一、駒瀬直也、中所宜夫、遠藤和久、奥川恒治、遠藤喜久、鈴木啓吾、永島充、佐久間二郎、坂真太郎、長山耕三、桑田貴志(以上13名が重要無形文化財総合指定保持者)、中森健之介、新井麻衣子、奥川恒成、石井寛人、金子仁智翔(以上18名の観世九皇会所属能楽師より公演ごとに11名を選定) ・ワキ方: 殿田謙吉、大日方寛(公演により出演者が変わります) ・囃子方: 竹市学(名古屋市芸術創造賞受賞)、幸正昭、亀井広忠、大川典良(公演により出演者が変わります)</p> <p>②狂言「柿山伏」 ・狂言方: 善竹大二郎、大藏教義、上田圭輔(公演により出演者が変わります)</p> | | |
| <p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p> | <p>①観世喜正 / 観世流シテ方 重要無形文化財「能楽」総合指定保持者、公益社団法人観世九皇会理事長 国内外の公演出演のほか、指導、企画制作にも多数携わる。 法政大学大学院および皇學館大学非常勤講師、シンガポール演劇学校.T.I能楽講師。</p> <p>②善竹大二郎 / 大藏流狂言師 一般社団法人善竹狂言事務所代表理事。駒澤大学外部講師。 国内外の能楽公演出演のほか、普及公演や学校での鑑賞教室にも多数携わる。</p> <p>③亀井広忠 / 葛野流大鼓方十五世家元 2004年ビクター伝統文化振興財団賞奨励賞、2007年第14回日本伝統文化奨励賞、 2023年ポーラ伝統文化振興財団、伝統文化ポーラ賞優秀賞、第45回観世寿夫記念法政大学能楽賞等受賞多数。</p> | | |

| | |
|----|----|
| 別添 | あり |
|----|----|

【公演団体名 公益社団法人観世九阜会 】

| | | | |
|---------------------|---|--------|-------------------|
| ワークショップのねらい | <p>《伝統芸能を身近に》</p> <p>①古典のセリフを大きな声に出してみる。</p> <p>②能の動きを、実際に体を使って動いてみる。</p> <p>③能面をかけて歩いてみる。</p> <p>ことにより、古典芸能を身近に感じることができます。</p> | | |
| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 体育館または会場の入場可能人数まで |
| ワークショップ実施形態及び内容 | <p>【能楽について説明】(別添資料あり)</p> <p>能楽の歴史や特徴、本公演で上演する演目について説明します。</p> <p><テキスト>(別添資料あり)</p> <p>能楽の理解を深めるため写真を多く載せたテキストを使用いたします。</p> <p><あらすじ、みどころ></p> <p>能『船弁慶』について、小・中学生にも理解しやすいように、プロジェクターを用いて見やすく『紙芝居形式』で解説します。</p> <p>これまで実施してきた学校でも、小学校低学年でも分かりやすいと好評を得ています。</p> <p>【体験】</p> <p>能楽についても説明の後、下記の体験をしていただきます。</p> <p><謡(うたい)の体験></p> <p>能「船弁慶」の一節を全員で謡で体験します。</p> <p>本公演での能「船弁慶」上演時に、謡った部分が聞き取れるようになります。</p> <p><すり足体験> (別添資料あり)</p> <p>生徒全員で能の動きの基本となる</p> <p>①身体の構え型を体験します。</p> <p>②足の運び(すり足)で美しい姿勢で歩く体験をします。</p> <p><能面をつける> (別添資料あり)</p> <p>極度に制約された視野で、如何にして能役者が舞台上で動き、舞っているかを感じていただくために</p> <p>①代表の生徒は、実際に能面を掛けてすり足で歩く体験をします。</p> <p>(児童・生徒数が30名以下の場合には、全員に掛けていただく事も可能です)</p> <p>②代表生徒のほか、先生にも参加していただくことで、児童・生徒たちの注目度も上がり、盛り上がりも期待できます。</p> <p>これまでの実施校でも、先生方から好評を得ています。</p> <p>③代表児童・生徒以外には、紙に印刷した能面を配布し、顔に掛けて能面の視野を体験していただきます。</p> <p><能の所作体験とクラフト作業></p> <p>能「船弁慶」で演じられる源義経と、平知盛の幽霊とが対決する場面を体験していただきます。</p> <p>①生徒全員で厚紙の太刀を作成します。(材料は観世九阜会で準備いたします)</p> <p>②作った太刀を使って、児童・生徒が組になり、対決の所作を体験をします。</p> <p>児童・生徒が劇の一部分を体験することで、より身近で、親しみを持ちやすく、能動的に興味を持つことが、期待されます。(別添資料あり)</p> <p>【成果】</p> <p>・これまでの実施校では、体験後に</p> <p>①謡(セリフ)を生徒が口ずさむ、すり足で歩いてみるなど、身近なものとなり、理解が深まっております。</p> <p>②謡の体験による、腹式呼吸での正しい発声は、意思を明確に伝える等、将来的に様々な場面で、大いに役立つものと思われま。</p> <p>・先生にも体験に参加していただくことで、児童・生徒たちの集中力も上がり、また体験も盛り上がりも期待できます。</p> | | |
| その他ワークショップに関する特記事項等 | 特になし | | |

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

| | |
|----|----|
| 別添 | なし |
|----|----|

本事業への応募理由

【公演団体名 公益社団法人観世九阜会 】

①本事業に対する取り組み姿勢

《日本を代表する芸能を未来へ》

●伝統芸能を鑑賞する機会として。

・約650年の歴史を有する日本の伝統芸術である能楽は、小学校の国語や中学校の音楽の教科書に取り上げられていますが、小・中学生ばかりでなく、先生方も能楽を鑑賞・体験する機会がなかなか得られないのが現状です。

●子供たちの感性を引き出す機会として。

・本事業を通じ、能と狂言を学び楽しむことで、能楽の想像力、空想力を学び、古今変わらぬ人のつながりや行動を知り、古に思いをはせ、子どもたちの心と身体に豊かな感性を引き出す一助となることを目指します。

●さらなる国際社会にむけて

・訪日外国人の増加や、海外の方と触れ合う機会が増えている。
・日本人が海外で活躍することも増えている。

そのなかで子供たちが自国の伝統文化について、自信を持ち、話をする事ができる「学び」の良いきっかけとなるように導きます。

●授業の補助として。

・先生方も実際に能楽を体験・鑑賞することで、国語や音楽の授業にその経験を活かすことができると考えます。
・将来的に海外で活躍する機会や、海外の方々と会うことも増えてくることを鑑み、自国の伝統文化を身に着ける機会として活用できます。

《豊かな実績に基づく質の高い公演の実施》

●実施団体としての実績。

・(公社)観世九阜会では、前理事長である観世喜之が、数十年に渡り地元の小学生のための能楽鑑賞教室を主催するなど、能楽の普及活動にも豊富な経験と実績があります。
・理事長である観世喜正をはじめ、観世九阜会所属の能楽師(重要無形文化財総合指定15名を含む19名)が、当事業に積極的に参加及び出演することで、質の高いワークショップ、本公演を行うことが可能です。

●経験豊かな出演者

・出演者のなかには、皇學館大学、法政大学、二松学舎大学等で能楽の講義を行ったり、また、地域の小中学校で能楽のワークショップ等を実施しており、学校での実績も豊富です。
・特別支援学校での能楽体験指導を行っている出演者もいます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

《豊富な経験によるスムーズな運営》

●豊富な学校公演の実績

- ・出演者、およびスタッフについても、学校公演の実施に豊富な経験を持っており、事前ワークショップ、本公演をよりスムーズに実施することが可能です。
- ・平成27年度より毎年「巡回公演」の実施経験を踏まえ、より円滑に事業を進めるスキルを取得しています。
- ・実施校との交渉や、実施に向けての実施校との打合せも臨機応変に対応しています。
- ・実施にあたっての相談等も、観世九阜会事務局が窓口として全面的にサポートを行い、円滑に運営することができます。
- ・事前ワークショップ、本公演については所属能楽師が臨機応変に対応することが可能です。

●実施校の負担を軽減。

- ・舞台の設営や撤収も1時間程度の短時間で簡易舞台を設えることができます。
体育館等の占有時間を短くでき、授業への影響も最小限で公演を実施することができます。

●分かりやすい教材と指導

- ・オリジナルのテキストを用意しています。
写真を多く使用していますので、ビジュアル的により理解しやすくなり、効果的にワークショップ、本公演を楽しんで頂くことが可能です。
- ・ワークショップでは主指導者のほか、補助員についても主指導者と同等のスキルを有する者がサポート致しますので、スムーズに進めることが可能です。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

| リンク先 | No.2 | 【公演団体名 | 公益社団法人観世九阜会 】 |
|--|--|--------|------------------|
| 項目内容 | <p>1. 【演目の鑑賞】</p> | | |
| | <p>①能「船弁慶」、狂言「柿山伏」の実演を鑑賞します。</p> | | |
| | <p></p> <p>能「船弁慶」上演の様子</p> | | |
| <p></p> <p>狂言「柿山伏」上演の様子</p> | | | |
| <p>3. 【狂言体験】</p> | | | |
| <p>①生徒全員で、狂言「柿山伏」で登場する動物の物まねや、狂言の笑い方など、狂言独自の所作を体験します。</p> | | | |
| <p></p> | | | |

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.3

【公演団体名

公益社団法人観世九草会

】

1. 事前ワークショップの様子

【能楽について説明】

①能楽について、プロジェクターを使用し、生徒たちにわかりやすく説明いたします。



テキスト（抜粋）

わかりやすいテキストを配布、また演目あらすじ解説では、紙芝居形式の動画としてプロジェクターでも映写します。

項目内容

| 能楽の歴史を知ろう | 能楽 顔面をみてみよう |
|---|---|
| <p>能楽の歴史は、古くは神代歌謡、神楽、舞などの起源があり、大いに影響を受けながら、独自の発展を遂げてきました。</p> <p>↓</p> <p>能楽の起源 能楽は、神楽、神楽舞などから発展し、神楽舞の要素を取り入れ、独自の発展を遂げました。</p> <p>↓</p> <p>能楽の発展 能楽は、能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>●能楽の歴史 能楽は、能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>●能楽の歴史 能楽は、能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> | <p>白面（しらゆき）</p> <p>赤面（くもがた）</p> <p>白面（しらゆき）</p> <p>赤面（くもがた）</p> |

| 能楽 演目あらすじ | 紙芝居形式の動画 |
|---|---|
| <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> | <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> <p>能楽の歴史（能楽の歴史）から、能楽の歴史を代表する能楽として、能楽の歴史を語り継いでいます。</p> |

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

【公演団体名 公益社団法人観世九阜会 】

項目内容

2. 【体験】

①全員で、能楽師の指導のもと、すり足を体験します。



②代表の生徒には「能面」をつけて歩く体験を、
その他の生徒には能面を着けて動いた時にどのように見えるかを観察して頂きます。



③能「船弁慶」の所作体験では、生徒が厚紙で作った太刀を使って、知盛と弁慶が戦う「斬り組み」を体験します。

